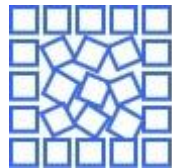


日本体育・スポーツ哲学会第48回大会シンポジウム



——一般公開のお知らせ——

日本体育・スポーツ哲学会では2026年8月22日（土）と23日（日）に第48回学会大会を日本福祉大学（東海キャンパス）にて開催します。詳細は本学会HP（<http://www.jspspe.jp/>）をご覧ください。

第1日目には、『これまでの体育はいかなる〈身体経験〉を正当化してきたのか——経験概念の理論的検討と、その排除の構造——』と題したシンポジウムを実施します。本シンポジウムは日本スポーツ体育健康科学学術連合の助成を受けて開催しますので、一般公開し、どなたでも無料で参加が可能です。多数の参加を心待ちにしております。なお、参加の申し込みは下記のフォームからご登録ください。

ご質問などはフォームを用いてお問い合わせいただければ幸いです。

記

主 催：日本体育・スポーツ哲学会

日 時：2026年8月22日（土）15時40分～17時40分

場 所：日本福祉大学 東海キャンパス（〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田 1071）

南ウイング3階：S301・S302 教室

方 法：対面 ＊社会情勢により、オンラインリアルタイム形式に変更となる場合があります

対 象：どなたでも可

登 録：<https://forms.gle/SofJGgVwf8BRU2gt9> **（すでに学会大会への参加を申し込まれた方は登録不要です）**

連絡先：日本体育・スポーツ哲学会学会シンポジウム担当（神野 周太郎）

テーマ：これまでの体育はいかなる〈身体経験〉を正当化してきたのか

——経験概念の理論的検討と、その排除の構造——（1年目）

司 会：神野 周太郎（大阪電気通信大学）・竹村 瑞穂（東洋大学）

演題1：体育にとって自明視されてきた身体経験の問い直し——「体育＝身体教育」という理想と幻想——

演者：高橋 徹（岡山大学）

演題2：なぜ「声」を聴くことができないのか——不可視化される、あるいは理解不可能な身体経験について——

演者：三上 純（関西大学・日本学術振興会特別研究員 PD 大学）

演題3：体育科教育はなぜ「そっとしておく」ことができないのか？——ヒヤダインの語りを「教育問題」へ回収しないための試論——

演者：日向 悠太（大阪体育大学）

以上